

**平成26年度進行管理・評価シート**  
**佐賀市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）**  
（最終変更平成26年3月28日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施、推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	.....	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	.....	4
2 佐賀城堀の水の循環事業	.....	5
3 旧久富家住宅取得保存修理事業	.....	6
4 旧森永家住宅取得保存修理事業	.....	7
5 旧牛島家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	.....	8
6 旧古賀家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	.....	9
7 大隈記念館改修事業	.....	10
8 史跡「大隈重信旧宅」保存修理事業	.....	11
9 歴史的風致形成建造物保存修理事業	.....	12
10 長崎街道再整備事業	.....	13
11 石橋再生事業	.....	14
12 周遊ルート環境整備事業	.....	15
13 案内・説明看板及び誘導看板整備事業	.....	16
14 ファサード整備事業	.....	17
15 水路保全整備事業	.....	18
16 緑化推進事業	.....	19
17 佐賀市文化遺産活用事業	.....	20
18 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	.....	21
19 地域文化保存・継承支援事業	.....	22
20 指定文化財要覧作成事業	.....	23
21 まちづくりファンド活用事業	.....	24
22 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	.....	25
23 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	.....	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定	.....	27
2 文化財の修理(整備)	.....	28
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	.....	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		30

**□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)**

①計画に記載している方針(様式2-1)	.....	31~33
---------------------	-------	-------

**□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)**

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	.....	34~36
---------------------------	-------	-------

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	.....	37~38
-------------------------	-------	-------

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。  
また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で


- 「佐賀市歴史まちづくり協議会」の設置(平成25年5月21日設置)  
同協議会では、事業に関する事項や、計画変更に関する協議を行った。
- 「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」の設置(平成24年8月23日設置 庁内12関係課)  
同会議では、計画に記載した事業の調整を進めるとともに、進行管理を行った。  
あわせて、「個別調整会議」も随時開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■第9回佐賀市歴史まちづくり協議会の開催状況  
開催日:平成26年5月26日(火)  
開催場所:佐賀市庁舎議会棟 第3会議室  
(議題)  
・平成25年度事業進捗について  
・計画の軽微な変更報告  
・事業スケジュール




佐賀市歴史まちづくり協議会  
平成26年5月26日(月)

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議の開催状況  
開催日:平成26年5月14日(水)  
開催場所:佐賀市庁舎大財別館  
(議題)  
・事業進捗、今後のスケジュール



佐賀市歴史まちづくり事業調整会議  
平成26年5月14日(木)

■第10回佐賀市歴史まちづくり協議会の開催状況  
開催日:平成27年2月17日(火)  
開催場所:徴古館 2階  
(議題)  
・計画の変更について  
・平成26年度事業評価について  
・事業スケジュールについて



第9回佐賀市歴史まちづくり協議会  
平成27年2月21日(火)

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議の開催状況  
開催日:平成27年2月12日(木)  
開催場所:佐賀市庁舎議会棟 第3会議室  
(議題)  
・懸案事業の協議、今後のスケジュール

※各課個別調整会議 (随時開催)  
・個別事業別に進捗管理等の協議



佐賀市歴史まちづくり事業調整会議  
平成27年2月12日(木)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
佐賀市都市計画道路網の再編		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。  
 今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。  
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成25年度末までに10路線10区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江戸時代の町割を継承する佐賀城下町において、時代に沿った都市計画道路の見直しにより、町割の大きな改変が行われることがなくなり、歴史的風致の維持向上に寄与した。

●平成26年度 1路線1区間を廃止した。

平成26年度の内容: 八戸線(W=11m L=1850m)⇒廃止

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

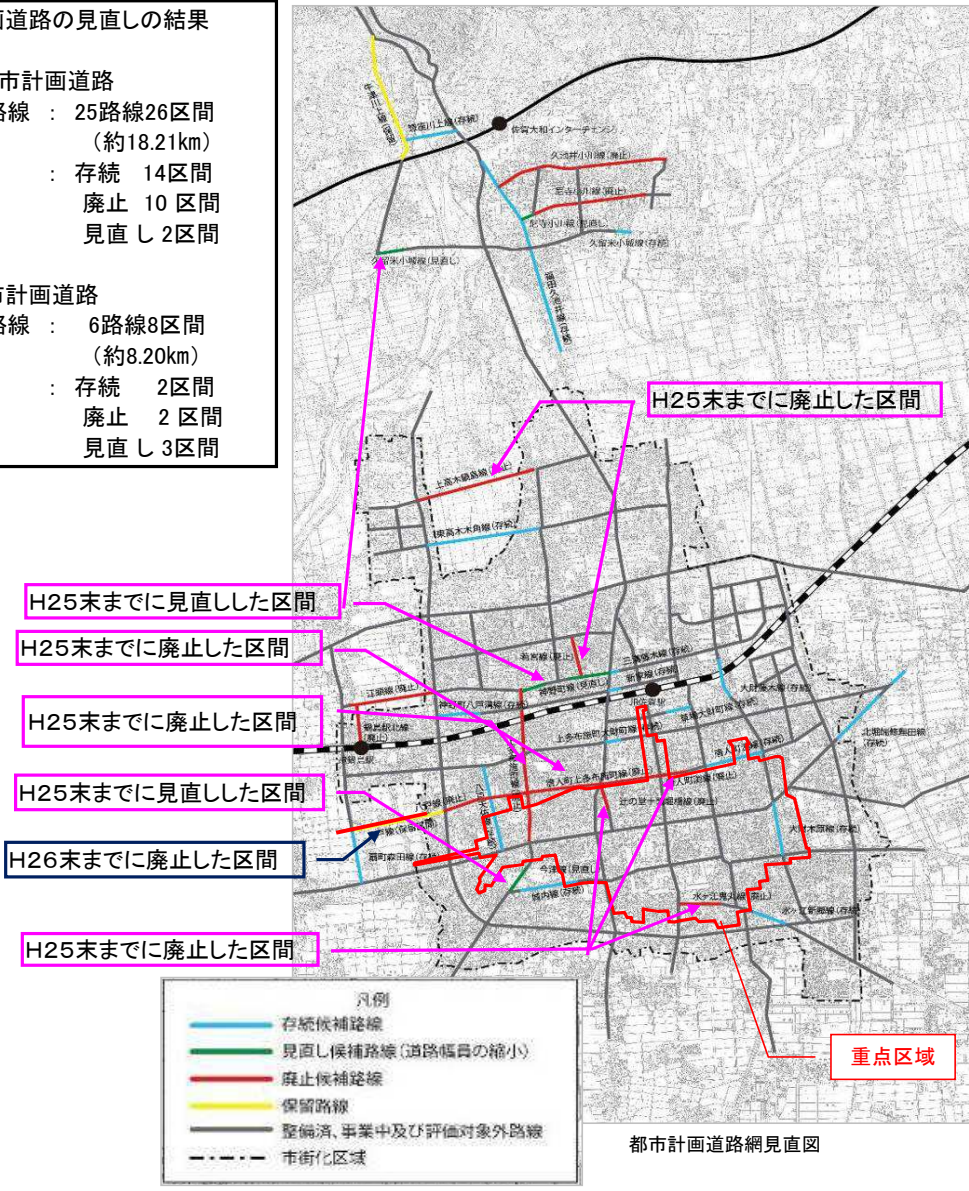
佐賀市都市計画道路の見直しの結果

旧佐賀市の都市計画道路

見直し対象路線 : 25路線26区間  
 (約18.21km)  
 見直し結果 : 存続 14区間  
 廃止 10区間  
 見直し 2区間

旧大和町の都市計画道路

見直し対象路線 : 6路線8区間  
 (約8.20km)  
 見直し結果 : 存続 2区間  
 廃止 2区間  
 見直し 3区間



評価軸②-2  
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用と景観条例の運用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 当市では、市町村合併に伴い、平成18年度に策定した景観計画を見直し、平成23年度に変更を行った。市全域を「景観計画区域」とし、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付ける。また、「景観誘導エリア」において、景観法に基づく景観に関するルールについて住民協議が整った地区を「景観形成地区」として指定していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち計画の重点区域を包含する景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」では、はり紙等の屋外広告物のパトロールや撤去を重点的に実施し、歴史的風致の維持向上に努めている。

●平成23年10月 「景観条例」制定 ●平成24年1月 「景観計画」策定 ●平成24年4月 「景観条例」施行  
平成26年度の景観法に基づく届出等の件数(平成26年12月31日現在)

- 市域全体: 77件(景観形成地区を除く)
- 長崎街道・柳町景観形成地区: 2件
- 城内景観形成地区8件
- 景観賞受賞作品数: 3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

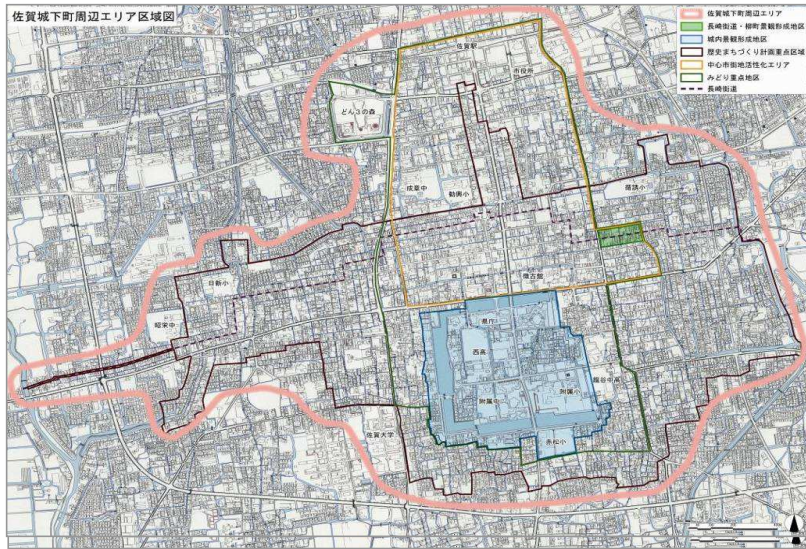
状況を示す写真や資料等



屋根の修繕 改修前  
景観重要建造物・南里邸



屋根の修繕 改修後  
景観重要建造物・南里邸



景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」

凡例					
	佐賀城下町周辺エリア		長崎街道・柳町景観形成地区		城内景観形成地区
	重点区域(歴史まちづくり計画)		中心市街地活性化エリア		みどり重点区域



第18回佐賀市景観賞受賞作品  
佐賀大学美術館・正門周辺(本庄)



第18回佐賀市景観賞受賞作品  
巨勢川調整池(東名遺跡)(金立町)



第18回佐賀市景観賞受賞作品  
兵庫北のまちづくり(兵庫北5丁目)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

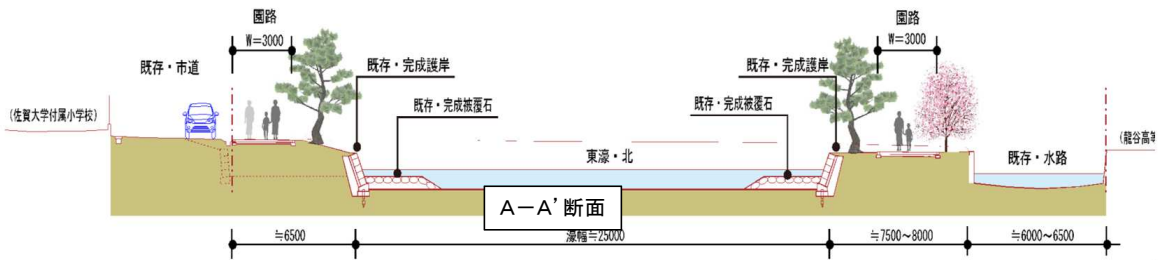
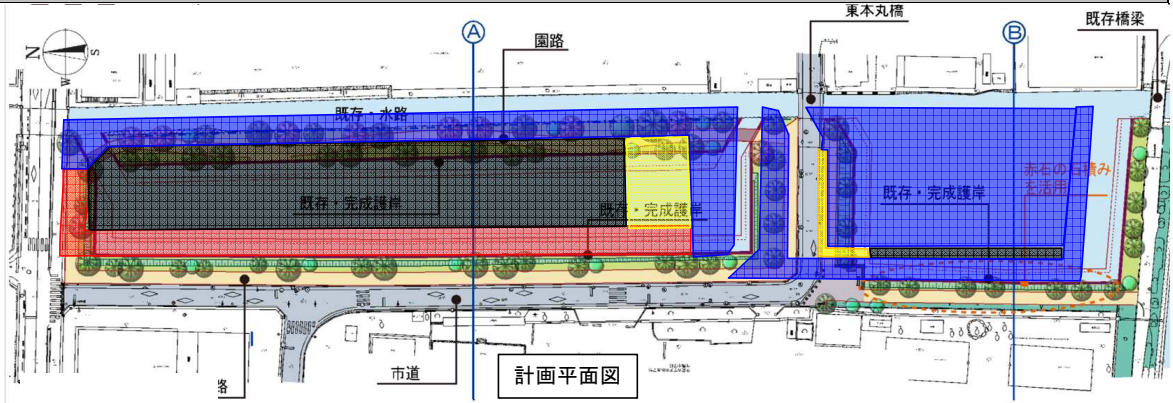
	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況
佐賀城公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園事業)
計画に記載している内容	第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

平成26年度 園路整備 L=190m及び旧佐賀城東堀の石積護岸の文化財調査を行い、石積護岸の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



- 平成24年度以前 L=201m 石積工A=470m<sup>2</sup>
- 平成25年度 L=26m 石積工A=82m<sup>2</sup>
- 平成26年度 園路整備 L=180m
- 平成27年度 以降



昭和13年・14年度に埋められた東堀  
〔北西端から撮影〕 着工前



文化財調査で発掘された  
復元前の赤石護岸

復元された東堀の赤石護岸



掘削され堀に復元された東堀の一部  
〔北端から撮影〕 竣工

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
	項目	現在の状況

佐賀城堀の水の循環事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業・効果促進事業)

計画に記載している内容 多布施川から流入する佐賀城の城堀の水は、農業用水として管理され、城内の水路に流入していたが、現在はその機能が失われて堀の水位が下がったため、城内の水路に水が流れなくなっている。このため、流水口に樋門などを設置し、お堀の水位管理を行うとともに城内の水路の改修を行い、堀の水を城内に循環させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「佐賀城水門調査(水理施設概略設計・水準横断測量・樋管台帳作成)」を実施した。

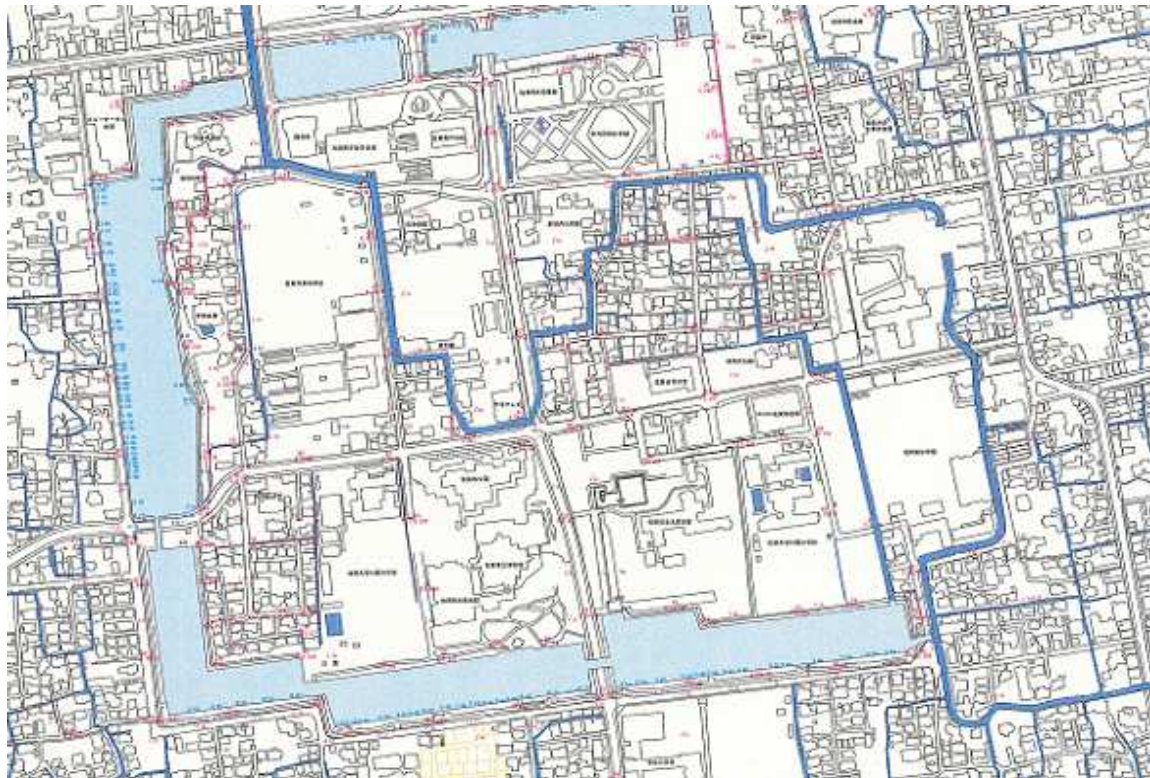
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

佐賀市が平成25年度に策定した「佐賀市排水対策基本計画」と調整を行いながら検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

- 事業スケジュール
- 平成25年度:現況調査
- 平成26年度:水門調査、ゲート位置決め等調査委託
- 平成27年度～:整備構想検討
- ※平成27年度主要施設実施設計・整備(予定)



単点調査箇所(赤点約100ヶ所)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成26年度

旧久富家住宅取得保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 平成24年度～平成26年度:社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
 平成25年度～平成26年度:社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する旧久富家住宅を取得し、保存修理を行い公開する。  
 旧久富家住宅は、大正10年に「履物問屋 久富商店」として建てられたもので、外観は大棟の妻壁を大きく見せ、大正期の大型町家として力感あふれる表構えであり、主屋西側の土蔵造りとともに、当時の面影を良く残している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度:歴史的風致形成建造物の指定、用地取得(建物は寄付)、図面作成  
 平成25年度:改修設計、工事発注、見学会実施、活用者募集(1階決定)  
 平成26年度:11月8日、9日見学会実施、活用者募集(2階8区画のうち5区画決定)、平成27年1月末建物工事完了、平成27年2月活用開始、2階未決定の3区画募集開始  
 平成27年度:護岸工事(6月末完了予定)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



着工前



竣工後

柳 旧久富家 旧森永家 と柳町

2014年11月8日(土)・9日(日) 10<sup>00</sup> 10<sup>20</sup>  
 於・柳町 三省銀行 Hisatomi & Morinaga house residence in Yanagimachi-town

公益財団法人鍋島報效会 復古館学芸員 富田絃次  
 復古館 NAKESHIMA http://www.nabeshima.jp

柳 旧久富家 旧森永家 と柳町

2014年11月8日(土) 10<sup>00</sup> 10<sup>20</sup>  
 Hisatomi & Morinaga house residence in Yanagimachi-town

久 旧久富家住宅 十 旧森永家住宅

久富家住宅: 本館は、江戸中期(寛政)に築かれた長崎から日本各地へ運ばれた大正10年(1921)の建築です。表構えは、大棟の妻壁を大きく見せ、大正期の大型町家として力感あふれる表構えです。主屋西側の土蔵造りとともに、当時の面影を良く残しています。平成26年度(2014年)に取得し、保存修理を行い公開する予定です。

森永家住宅: 江戸中期(寛政)に築かれた長崎から日本各地へ運ばれた大正10年(1921)の建築です。表構えは、大棟の妻壁を大きく見せ、大正期の大型町家として力感あふれる表構えです。主屋西側の土蔵造りとともに、当時の面影を良く残しています。平成26年度(2014年)に取得し、保存修理を行い公開する予定です。

旧久富家住宅見学会資料(平成26年11月8日・9日)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
旧森永家住宅取得保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
市単独事業

計画に記載している内容 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する森永家住宅を取得し、保存修理を行い公開する。森永家住宅は、明治前期の建物が3棟(主屋・表土蔵・裏土蔵)残されており、当初は煙草製造販売業を営んでいたが、明治37年の煙草専売化に伴い呉服商に転じ、昭和9年まで呉服店を営んでいた。表土蔵は、妻入りの2階建て正面の森永呉服店の木看板の文字が目を惹く。裏土蔵は、妻入りの3階建て、敷地南側を流れる裏十間川に面して建ち、裏十間川に面した部分にも出入口を設け船運に対応したとみられる。西側の主屋は切妻造平屋建てである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度:歴史的風致形成建造物の指定、用地取得(建物は寄付)、図面作成、見学会実施  
 平成25年度:改修設計、工事発注、見学会実施、活用法決定  
 平成26年度:11月8日、9日見学会実施、平成27年1月末建物工事完了、平成27年2月活用開始  
 平成27年度:護岸工事(6月末完了予定)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



[着工前]



[竣工後]

旧森永家住宅見学会(平成26年11月8日・9日)

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
旧牛島家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に建つ旧牛島家は、佐賀市重要文化財に指定されており、佐賀市歴史民俗館を構成する施設の一つである。 旧牛島家は、江戸期に問屋業を営んでいた建物で、城下町南東の旧下今宿町にあった。この建物の建築年代は、18世紀前後に遡ると考えられ、佐賀市で最も古い町家建築として重要であり、道路拡幅に伴って現在地に移築された。 移転整備後10年以上が経過し、雨漏りや漆喰落ちなどがみられるようになってきたため、老朽化による損傷状態を調査した上で、保存のための整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成24年度: 雨漏りや漆喰落ち箇所などの損傷状態の調査実施</li> <li>●平成25年度: 修復設計</li> <li>●平成26年度: 工事準備</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度に工事完了予定であったが、佐賀城下ひなまつりの会場であり、工事とひなまつりイベントとの調整がつかず、ひなまつり終了後に工事着手を行うため、事業期間について平成24年～平成26年度を平成24年度～平成27年度に延長する必要がある。 状況を示す写真や資料等		
現況写真			
			
旧牛島家〔市重要文化財〕 佐賀市歴史民俗館		佐賀城下ひなまつり期間中の様子	
			
のどくり軒 西面土壁剥落		外壁 西面土壁剥落	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
旧古賀家(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に建つ旧古賀家は、佐賀市重要文化財に指定されており、佐賀市歴史民俗館を構成する施設の一つである。  
 旧古賀家は、旧古賀銀行の頭取の住宅で、銀行本店の東隣にある。周りに門と塀を巡らした白漆喰仕上げの近代和風建築で、古賀銀行開業に先立つ明治17年に建てられたと伝わる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度:目視調査、委託費算定  
 平成27年度:建物破損調査、修復設計  
 平成28年度:改修工事

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

現況写真



旧古賀家[市重要文化財]



破損状況(柱の倒れ)



破損状況(壁)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
大隈記念館改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)内部及び設備改修等  
社会資本整備総合交付金(効果促進事業)

計画に記載している内容 史跡「大隈重信旧宅」の隣に建つ大隈記念館は、昭和42年に開館した大隈重信侯にまつわる歴史資料を展示する施設である。同館の設計者は、早稲田大学建築学科教授であった今井兼次氏であり、どっしりとした独特の建物意匠は、大隈侯の動かざる姿をイメージしたものといわれている。  
今回、開館以来行っていない内部及び設備の改修と展示施設の更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

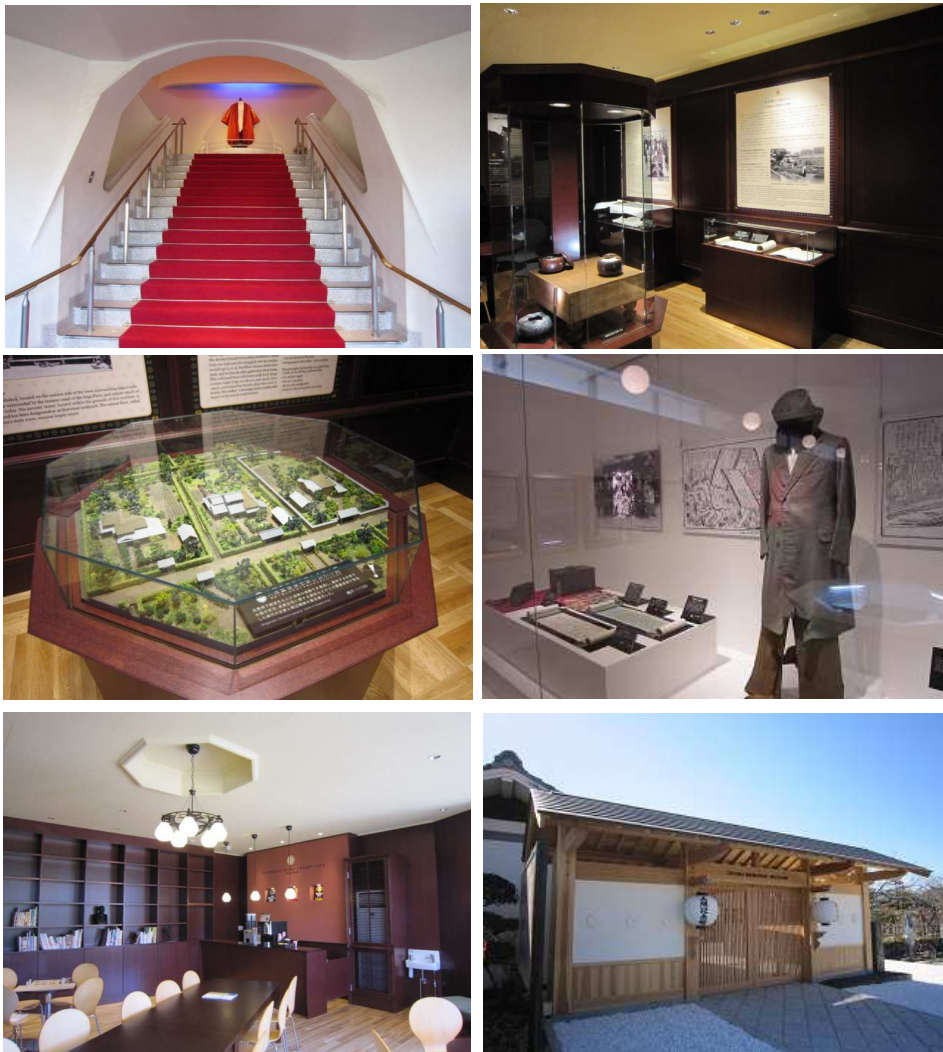
- 平成26年8月14日 改修工事着工
- 平成27年1月31日 工事完了
- 平成27年2月14日 リニューアルオープン 平成26年度来館者数 12,016人(前年度12,392人)  
平成27年2月～3月来館者数 4,122人(前年度3,189人)

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

改装後



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
史跡「大隈重信旧宅」保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 国重要文化財等保存整備事業費補助金

計画に記載している内容 大隈重信は、天保9年この家の長男として生まれ、誕生以来ここを住居とし、幕末の動乱期国事に奔走した。今回、耐震補強を含めた保存修理の検討を行った後、保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度:耐震診断
- 平成27年度:実施設計、改修工事開始

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

現況写真



史跡 大隈重信旧宅



漆喰壁の破損



窓上木庇の雨腐れ

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	重点区域内に点在する伝統家屋や寺社建築などの歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度補助要望なし			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度までに指定した物件はすべて市所有の物件であり、今後必要に応じて追加指定、保存修理を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
歴史的風致形成建造物及び指定候補			
<p>The map shows the locations of 19 historical buildings and candidates in Sagami City. The legend indicates that green dots represent designated cultural assets (including candidates) and pink dots represent historical buildings not designated as cultural assets. The buildings are numbered as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 武家屋敷の門 (中の小路)</li> <li>2. 佐賀(龍造寺) 八幡宮石造肥前鳥居</li> <li>3. 鐘楼</li> <li>4. 武家屋敷の門 (水ヶ江二丁目)</li> <li>5. 伊勢神社の石造肥前鳥居及び肥前狛犬像</li> <li>6. 武家屋敷の門 (八幡小路)</li> <li>7. 旧古賀銀行</li> <li>8. 旧古賀家</li> <li>9. 旧牛島家</li> <li>10. 旧福田家住宅</li> <li>11. 旧三省銀行</li> <li>12. 旧佐賀城本丸 御座間・堪忍所</li> <li>13. 敬古館</li> <li>14. 野中島屋園</li> <li>15. 馬場家住宅</li> <li>16. 山口亮一旧宅</li> <li>17. 旧久富家住宅</li> <li>18. 旧森永家住宅</li> <li>19. 大隈記念館</li> </ul> <p>Additional features include '長崎街道' (Nagasaki Street) and a scale bar from 0 to 1,000m.</p>			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
長崎街道再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 曲がり角が多い長崎街道は道筋がわかりにくい上に、新たな都市計画道路や開発で分断されている部分もある。このため長崎街道沿いに残る歴史的建造物や赤石護岸、棚路を探訪しながら、気軽に長崎街道を歩けるように、長崎街道の道筋を明確化する舗装の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 測量設計(委託)実施
- 整備方針の検討

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

**長崎街道整備計画  
ゾーニング図**

評価軸③-11  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
石橋再生事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
水路に架けられている橋は、上面はアスファルトなどに覆われているが、その下には今でも石橋が残っている。このため、城下町の石橋の悉皆調査と再生方法の検討を行い、石橋を表面に出す再生事業を、特に長崎街道や周遊ルートを中心として行う。

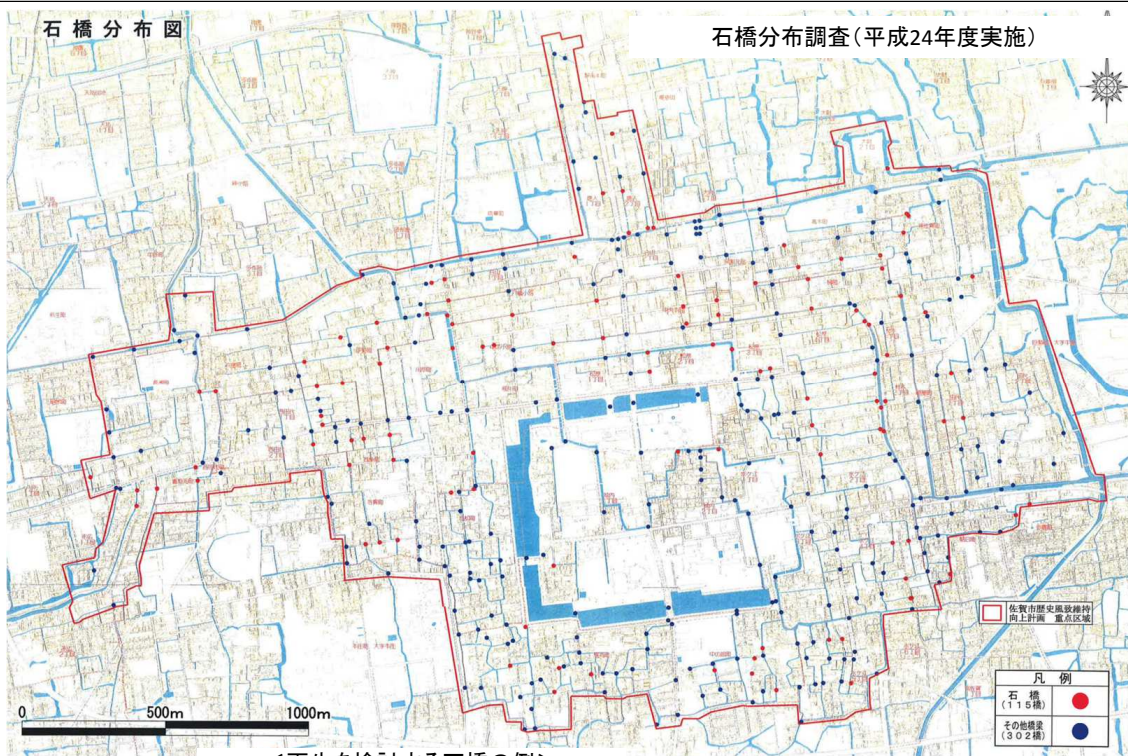
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●平成26年7月4日(金):石橋整備先進地視察(宇佐市)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 景観保全と交通の安全性を両立しながら再生手法を検討していく必要がある。案内板や周遊ルート整備と併せて優先順位を検討する。

状況を示す写真や資料等



<再生を検討する石橋の例>



アスファルトにかかれた石橋



左写真の石橋を横から撮影



コンクリートによる補修

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
周遊ルート環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 歴史的建造物等やまちなみを見ながら、自転車で快適に周遊できるよう周遊ルートや駐輪場などの整備を行う。  
 また、多布施川などの周遊ルートの沿道には、ガードレールなどの防護柵、標識が設けられているが、景観への配慮が足りないものが多い。このため、景観に配慮した防護柵などの改修を行う。

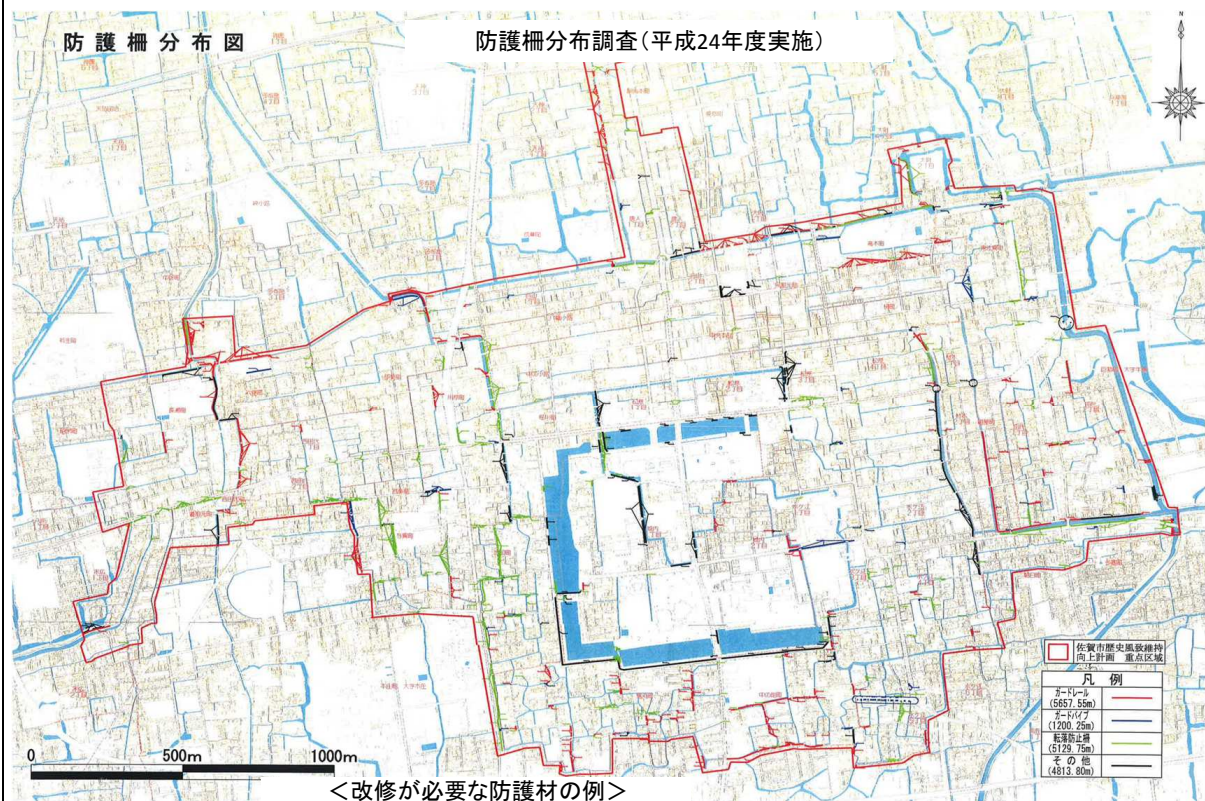
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●平成26年7月(2日間):防護柵分布図(平成24年度作成)をもとに、現地調査を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 景観保全と交通の安全性を両立しながら再生手法を検討していく必要がある。  
 案内板や石橋再生事業と併せて事業箇所の優先順位を検討する。

状況を示す写真や資料等



<改修が必要な防護材の例>



白い防護柵



軽度の腐食のある防護柵

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況
案内・説明看板及び誘導看板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成33年度

支援事業名 重点区域内:社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
重点区域外:市単独事業

計画に記載している内容 案内・説明看板や誘導看板に関して、統一感あるデザインを作成し設置を行う。  
重点区域外において、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置されてきた案内・説明看板や誘導看板についても、同じデザインの看板の設置を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●案内・説明看板の整備にあたり、整備計画を策定  
●佐賀城下まちづくり実行委員会で、検討会及び現地調査を行った。  
検討会:平成26年7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、11月12日、平成27年1月21日  
現地調査:平成26年10月28日(火)、11月5日(水)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

統一的な基準を策定した上で、現状で足りないところや老朽化した案内板、説明看板等を整備していく。

状況を示す写真や資料等

- 事業スケジュール
- 平成25年度:検討
- 平成26年度:整備計画策定、整備箇所検討
- 平成27年度～:サイン整備開始(予定)



第1回検討会  
〔さが城下まちづくり実行委員会〕  
平成26年7月16日(水)

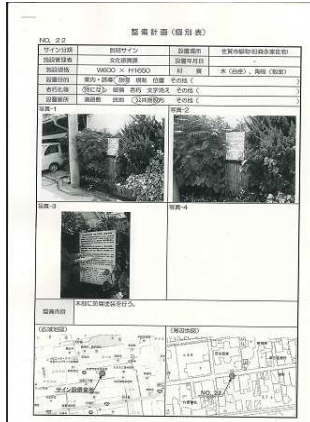


設置場所検討のための現地調査  
〔さが城下まちづくり実行委員会〕  
平成26年10月28日(火)

佐賀市歴史的風致維持向上計画  
案内サイン等整備計画

平成26年3月  
佐賀市都市デザイン課

整備計画書表紙



管理台帳(個別表)

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
ファサード整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	事業箇所は長崎街道の一部であり、まちなかと佐賀市歴史民俗館を結ぶ周遊ルートとして重要な道路である。この通りには、江戸時代から昭和にかけての様々な意匠の建造物があるものの、現在看板に覆われており、直接その外観を見ることができない。このため、「まちなみ形成ガイドライン」を作成し、各建造物が持つ意匠を活かす改修などに対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●商店街の所有者等の意見聴取実施(平成27年3月)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	商店街の所有者等の意見を聴取した結果を踏まえて、平成27年度中に事業の方向性を決定する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
事業箇所の現況		歴史的建造物が点在する長崎街道・呉服元町の商店街	
			
	①長崎街道・呉服元町の商店街	②長崎街道・呉服元町 平成26年2月15日にオープンした恵比須ステーション	
			
	③長崎街道・呉服元町の商店街		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
水路保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～平成33年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)新規整備事業 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)修復事業

計画に記載している内容 長崎街道や周遊ルートの橋上から見える水路の範囲を指定し、石積護岸や水辺に下りる階段状の柵路の復元・整備のための事業やそうした事業に対する助成を行い、橋上などから見える景観を保全する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

補助対象区域内で申請のあった2件について補助を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 事業スケジュール
- 平成24年度:現況調査
- 平成25年度:検討
- 平成26年度:護岸整備補助



<H26年度改修護岸>



整備前①




整備後①



整備前②



整備後②

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)助成制度 市単独事業		
計画に記載している内容	平成20年度に施行した「佐賀市みどりあふれるまちづくり条例」に基づき、緑化を重点的に推進する区画として、佐賀市歴史的風致維持向上計画に重点区域の一部とその周辺を対象に平成23年8月に「みどり重点地区」を指定した。 これにより、公共施設敷地や周遊ルートにおける緑化の推進や民有地の緑化の推進を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内の事業 緑化啓発活動:1件、大木の保全:1件、自治会やボランティア等が行う地域環境緑化活動への支援:22団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>■平成26年度の「みどり重点地区」での緑化の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○緑化啓発活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀城下ひなまつり会場にて寄せ植えコンテスト、ミニ寄せ植え体験を開催</li> </ul> </li> <li>○民間施設の緑化(地域住宅計画に基づく事業)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>緑化協定締結 1件</li> <li>緑化協定を締結した民有地の緑化工事への補助 1件</li> </ul> </li> <li>○大木の保全                             <ul style="list-style-type: none"> <li>保存樹の治療 1本(竜造寺八幡宮のクスノキ)</li> </ul> </li> <li>○自治会やボランティア団体等が行う地域環境緑化活動への支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>花苗:21団体(19,796苗)</li> <li>樹木:1団体(5本)</li> </ul> </li> <li>○イベントでの苗木配布                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・5社詣ウオーク(佐賀城本丸歴史館前)800苗</li> <li>・佐賀城下ひなまつり(八幡神社)900苗</li> </ul> </li> </ul>			
			
5社詣ウオーク(佐賀本丸歴史館前) 平成27年1月11日(土)			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
佐賀市文化遺産活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～

支援事業名 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業  
伝統文化親子教室事業

計画に記載している内容 「さが城下まちづくり実行委員会」と、伝統文化親子教室を主催する17の団体が事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 伝統文化親子教室事業
  - ・いけばな・茶道・和太鼓・能等の親子教室を17団体により実施した。
  - ・こども教室の成果を発表する18団体合同の発表会を開催した。開催日：平成27年1月31日・2月1日
- 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業(主催：さが城下まちづくり実行委員会)
  - ・佐賀城下に関する基礎データの調査、整理作業
  - ・佐賀城下探訪会を4回開催した。参加者数：467名
- 佐賀市及び佐賀県は実行委員会に参加し、市民主体の活動を支援した。

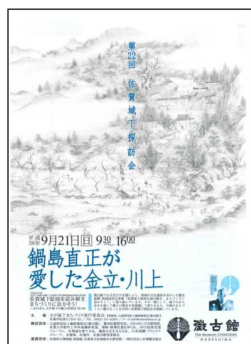
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●伝統文化親子教室合同発表会(平成27年1月31日・2月1日)



第1回 佐賀城下探訪会  
さが城下まちづくり実行委員会

- 平成26年度佐賀城下探訪会 参加者総数：467名
  - ・第1回「鍋島直正が愛した金立・川上」  
平成26年9月21日(日) 参加者数：112名
  - ・第2回「鍋島直正が訪ねた城下北郊」  
平成26年10月19日(日) 参加者数：107名
  - ・第3回「鍋島直正を支えた側近たち」  
平成26年11月16日(日) 参加者数：122名
  - ・第4回「長崎警備の拠点ー深堀・諫早」  
平成26年12月15日(日) 参加者数：126名

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
徴古館を活かしたまちづくり推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 平成20年10月3日に(公財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」に基づき、徴古館周辺の都市公園整備と徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 鍋島家伝来の歴史資料や美術工芸品を所蔵する公益財団法人鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で、企画展及び企画展に関連した各種イベントを開催した。
  - ・企画展の開催(5回)
- 市は、市報やホームページにより、企画展等の市民への周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●企画展(5回開催)

「幕末佐賀名君誕生」	平成26年5月19日(月)～7月5日(土)	入館者	477名		
「鍋島直正の側近たち」	平成26年7月28日(月)～9月13日(土)	入館者	754名	イベント	90名参加
「鍋島直正の本音」	平成26年10月6日(月)～12月6日(土)	入館者	724名		
「鍋島直正公御一家」	平成27年1月5日(月)～1月31日(土)	入館者	512名	イベント	48名参加
「鍋島家の雛祭り」	平成27年2月21日(土)～3月31日(土)	入館者	11,842名	イベント	3,188名参加



「幕末佐賀名君誕生」



「鍋島直正の側近たち」



「鍋島直正の本音」



企画展開催時のイベント

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
地域文化保存・継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度採択事業

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業 2件
  - ① 牛島天満宮の舞台にて練成をおこなっている葉隠太鼓保存会所有の太鼓の修理
  - ② 大和町の大和太鼓保存会所有の太鼓の修理
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業 6件
  - ① 高木瀬校区寄人地区に点在する歴史遺産について案内標識を設置した。
  - ② 川副町中津地区の歴史を未来に伝えるため、地区の歴史を記した看板の設置と小学校跡地の標柱の建替えを行った。
  - ③ 川副町和崎地区で年2回の祭りが開かれる観音堂の敷地に建つ石碑の洗浄と石碑文字の塗り直しを行った。
  - ④ 金立町にある歴史遺産について、以前作成した郷土かるたを元に、案内板の設置を行った。
  - ⑤ 湛然和尚の墓のある市史跡華蔵庵跡の場所を示す標柱の移設を行った。
  - ⑥ 大和町川上にある大久保お台場の歴史を知ってもらうために、解説板の設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

葉隠太鼓保存会所有の太鼓の修理



修繕前



修繕後

和崎地区で年2回の祭りが開かれる観音堂の敷地に建つ石碑の洗浄と石碑文字の塗り直し



修繕前



修繕後

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
指定文化財要覧作成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年～平成26年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市町村合併後、当市の指定文化財の概要を記したものがいないため指定文化財要覧の作成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財要覧データベース化のために、文化財データベースのサイト改修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

説明文と写真(文化財データベース掲載)

佐賀城城の門及び続櫓 一棟





所在地	佐賀市内二丁目 佐賀市
文化財指定状況	国 重要文化財
文化財指定日	昭和32年6月18日
登録ID	5328

**指定文化財**

佐賀城は、龍造寺氏の居城・村中城を鍋島直茂(なおいげ)・勝茂(かつしげ)父子によって、慶長13年(1607)から慶長16年までの佐賀城総普請によって整備拡張されたものである。

この続の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成したものである。

本来、城門は戦時の防備に重きを置き計画されているが、建築年代が江戸時代後期でもあり、建物があるべき防備の役割は形骸化が進み、装飾的要素が前面に出てくる。

続の門周辺の防備は、門の南北に高石垣が連なり、本来、門と天守台までの高石垣の中ほどから、現在は削平されてしまっているが、北方に向かって土塁が設けられていた。

「櫓(やぐら)」の本末の意味は、「矢倉(やぐら)」=武器庫であり、この櫓の発展形態が天守である。櫓門とは、通用する門構えに2階を上げた形式をいう。

続の門に附属している続櫓は、石垣先端いっぱいには建てられておらず、「犬走り」がめぐる。1階部分の左右には、床張りの門衛所があり、また、門内北側には番所が接続されるなど、近世城郭の初期には見られない機能的な形態となっている。

建物は二重二階の櫓門に一重二階の続櫓が配されている。櫓門の正面の桁行は5間(約11.9メートル)、礎石上から棟瓦上まで約12.5メートルを測る。

この門は明治7年(1874)の佐賀の役でも弾雨にさらされ、現在でも弾痕が観察できる。その後、佐賀商業学校の門として同校のシンボルとなっていた。明治以降幾度かの小修理がなされたが、建築から120余年の昭和36年(1961)に、大修理が行われた。

この昭和の大修理の際、部材に大工の氏名や年代の墨書が発見され、この門が移設や転用材を用いたのではなく、本丸再建に伴う新建築物であることがわかった。

続は、北方のものが、高さ1.70メートル、重量190キログラム、南方のものが高さ1.75メートル、重量210キログラム、製作者「治工谷口清左衛門(刻銘)」とあった。谷口家は、佐賀藩の御用鑄物師であり、幕末にはわが国で最初の「反射炉」建設及び運営に活躍した。

続の門は、この城門に続く石垣とともに往時の佐賀城をしのぶにたる佐賀城の建物遺構として貴重である。

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
まちづくりファンド活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成27年度

支援事業名 佐賀市ふるさとづくり基金

計画に記載している内容 佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。  
 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業  
 ② 歴史的建造物等を生かした交流とにぎわいづくり事業  
 ③ 重要建造物等活用事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度採択事業

- 重要建造物等活用事業 1件…長隣街道に建つ18世紀末の大型町屋

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 重要建造物等活用事業



[着工前]



[竣工]

改修後の内部



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 89件  
 謝礼金の目的:  
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことで、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■平成26年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧

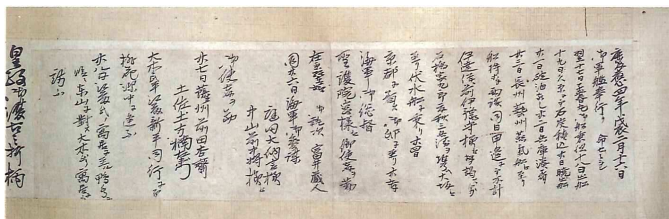
- 佐賀市指定重要文化財の管理者 56件  
 工芸品17件、古文書3件、建造物12件、石造物1件、彫刻13件、絵画3件、書跡3件、歴史資料4件
- 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者 9件
- 佐賀市指定史跡の管理者 12件
- 佐賀市指定天然記念物の管理者 12件



木造鍋島忠直坐像(1軀)  
 市重要文化財(彫刻)  
 所有者等 高伝寺



大涅槃像  
 市重要文化財(絵画)  
 所有者等 高伝寺



島義勇の旅日記(1巻)  
 市重要文化財(書跡)  
 所有者等:個人



大小野の石楠花(1株)  
 市天然記念物  
 所有者等 個人

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 11無形民俗文化財 10団体  
補助金の目的  
国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、保存団体等の実施する無形民俗文化財継承事業に要する経費(保存会の運営に関する経費)に対し、補助金を交付する。
- 指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体  
会設置の目的  
指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1 白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2 見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野権現社	見島のカセドリ保存会
3 市川の天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
4 三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
5 太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
6 浮立玄蕃一流	市指定	神野町東神野	掘江神社	西神野浮立保存会
7 高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
8 海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	海童神社奉納浮立保存会
9 松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	大詫間浮立会
10 東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
11 快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会
計	申請数	11無形民俗文化財		10団体

- 指定無形民俗文化財保存会代表者会 (平成26年8月7日開催)  
12無形民俗文化財、13団体  
・祭事等の事例報告  
・行政や民間の助成金及び補助金の説明  
・各団体の課題・問題点などの意見交換

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
文化財の調査・指定 保存管理計画の策定		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 ●未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。  
●個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財調査
  - 市域全体 確認調査115件 本調査7件
  - 内歴まち計画重点区域 確認調査10件 本調査2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

東掘(裏御門)発掘調査現地説明会(平成26年9月20日)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
文化財の修理(整備)、防災に関する事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。
- 既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理  
 青漆塗萌黄糸威二枚胴具足[県重要文化財]の保存修理  
 浮立玄蕃一流[市重要無形民俗文化財]の締太鼓修理  
 海童神社奉納浮立[市重要無形民俗文化財]の衣装・鉦の購入  
 東与賀銭太鼓[市重要無形民俗文化財]の銭太鼓の購入
- 防災関係の取り組み  
 文化財防火訓練 平成27年1月24日(土) 神野のお茶屋(佐賀市重要文化財)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

浮立玄蕃一流[市重要無形民俗文化財]の締太鼓修理



海童神社奉納浮立[市重要無形民俗文化財]の衣装・鉦の購入



文化財防火訓練 平成27年1月24日(土)



評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度	
項目		現在の状況		
文化財に関する普及・啓発の取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	●文化財に関する普及啓発の取り組み まちづくりの市民団体と連携し、市民や来訪者に対する歴史資産の情報提供を積極的に行い、当市の魅力を伝えることが重要である。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
●主な普及啓発事業実績 事業数7件、総参加者数2,042人 ・歴史・文化をテーマに講演会やシンポジウム、出前講座を開催 ・佐賀城東堀発掘に伴う現地説明会を開催				
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				
平成26年度 主な普及・啓発事業一覧				
No.	事業名	開催日	参加人数	事業内容
1	東名遺跡出前授業	4月10日～5月21日 (17日間)	12校1062人	東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ、縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる。また小学校で出土遺物のミニ展示を実施
2	鍋島直正公生誕200年記念「古文書を読んでみよう」	7月5日～12月6日	180名	佐賀藩10代藩主鍋島直正公200年を記念して、直正公に因んだ古文書を取り上げ講座を開催
3	出前講座	7月17日 8月2日 8月5日	68名	佐賀城や地域の歴史に関する出前講座を実施
4	東名遺跡体験学習	7月26日	小学生15名 保護者20名	現生のベンケイ貝を材料に、石と鹿角を使って貝輪を作成した。
5	佐賀城東堀現地説明会	9月20日	100名	佐賀城東堀発掘調査現地説明会
6	東名遺跡網みかごワークショップ	10月4日	45名	東名遺跡出土編みかごの復元作成体験
7	東名遺跡シンポジウム	11月8日	280名	「東名からみえる縄文の世界」公開シンポジウム
8	三重津海軍所跡発掘調査現地説明会	2月28日	102名	三重津海軍所跡発掘調査現地説明会
9	佐賀城東堀現地説明会	3月14日	170名	佐賀城東堀発掘調査現地説明会



評価対象年度	24年度～26年度
計画に記載している方針	ア 歴史的風致を構成する歴史的建造物の保存と活用の推進
計画に記載している課題	点在している歴史的建造物が除去されたり、十分な維持管理が行われていないために老朽化や損傷が顕著になっている。また、歴史的な趣を損ねた改修も多く、まちなみの統一感が失われつつある。特に、柳町に残る歴史的建造物の活用と統一したまちなみ形成が課題である。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③旧久富家住宅取得保存修理事業(H24～H27) 長崎街道沿いの柳町に建つ歴史的風致形成建造物の保存・公開のための修理を行った。(平成27年2月21日公開開始)</p> <p>③旧森永家住宅取得保存修理事業(H24～H27) 長崎街道沿いの柳町に建つ旧森永家住宅(歴史的風致形成建造物)の保存・公開のための修理を行った。(平成27年2月21日公開開始)</p> <p>③佐賀市歴史民俗館(旧牛島家)保存修理事業(H24～H26) 長崎街道沿いの柳町に建つ旧牛島家(佐賀市重要文化財)は、移転整備後10年を計画しており老朽化に伴う保存修理を行う。(事業進捗が遅れており、H27完了予定)</p> <p>③大隈記念館改修事業(H24～26) 史跡「大隈重信旧宅」の隣に建つ大隈記念館の内部及び設備の改修を行った。(平成27年2月14日公開開始)</p> <p>③史跡「大隈重信旧宅」保存修理事業(H26～H28) 平成26年度耐震診断、実施設計 平成27年度改修工事開始</p> <p>③まちづくりファンド活用事業(H23～H27) 歴史的建造物を生かした交流と賑わいづくり事業 H24 1件 重要建造物等活用事業 H26 1件</p> <p>④文化財の調査・指定・保存管理計画の策定 文化財指定件数 H24 3件 H25 3件 H26 0件 文化財調査 H24 確認調査 176件 本調査 14件 H25 確認調査 205件 本調査 19件 H26 確認調査 115件 本調査7件 史跡「三重津海軍所跡」保全計画策定(H25)</p> <p>④文化財の修理(整備)・防火に関する事業 文化財の修理 H24 4件 H25 5件 H26 4件 文化財防火訓練の実施</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>個人所有が困難となった長崎街道・柳町景観形成地区に建つ歴史的建造物2件(旧森永家住宅・旧久富家住宅)を市が取得、改修を行い、保存活用することができた。このことにより、歴史的建造物保全に対する意識が高まり、旧森永家住宅・旧久富家住宅近隣の歴史的建造物について、所有者による保存活用が行われた。</p> <p>また、重点区域内に点在する歴史的風致形成建造物(大隈記念館等)の老朽化に伴う改修工事を実施したことにより、保存活用を推進することができた。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>○歴史的風致形成建造物の指定件数 0件→8件</p> <p>○佐賀市歴史民俗館の利用者数 H24 170, 827人 H25 165, 531人</p> <p>○まちづくりファンド活用事業(歴史的建造物等活用事業等) H24 1件 H26 1件</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが不要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要</p> <p>(見直しの理由・方針)</p> <p>武家屋敷の門(松原二丁目)は、老朽化による倒壊の恐れがあり、保存修理を行う必要があることから、事業を追加する必要がある。(歴史的風致形成建造物指定予定)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	24年度～ 26年度
計画に記載している方針	イ 伝統と歴史に対する市民啓発と個々の活動への支援
計画に記載している課題	地域の祭事が中止となったり、お宮等の維持が困難になるなど、地域固有の歴史文化が失われる恐れがある。また、無形の伝統文化や伝統技術の後継者の育成が不足している。このため、文化財の保護と活用に対する市民意識を高めていくための啓発が課題である。
対応する進捗評価項目とその推移	③佐賀市文化遺産活用事業(H23～) 文化庁支援事業を活用し、市民活動団体による歴史まちづくり事業を実施した。 ③徴古館を活かしたまちづくり推進事業(H21～) 徴古館が所有する鍋島家伝来の歴史資料を活用した事業を実施した。 ③地域文化保存・継承支援事業(H21～) 地域資源の保全、継承するための活動を行う団体に対し財政的支援を行った。 ③指定文化財要覧作成事業(H23～H26) 市町村合併後、指定文化財の概要を示したものがないため、指定文化財要覧の作成を行った。 ③佐賀市指定文化財維持管理謝礼金(H20～) 佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に謝礼を行った。 ③佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金(H21～) 国・県・市指定文化財の無形民俗文化財の保存団体などが実施する取り組みを支援した。
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	徴古館を核とした市民活動団体による佐賀城下探訪会(佐賀市文化遺産活用事業)や、地域文化保存継承支援事業(市民団体に対する補助)などにより、市民主体の歴史資産を活用した取り組みが推進されている。 また、三重津海軍所跡の世界遺産登録推進の取り組みに伴い、市民の地域の歴史に対する関心が高まってきた。 【定量的指標】 ○佐賀城下探訪会 H24 4回 477人 H25 4回 539人 H26 4回 467人 ○地域文化保存・継承事業 H24 5件 H25 6件 H26 8件 ○三重津海軍所跡国史跡記念シンポジウム(H25) 212人 ○世界遺産フェスタ H24 6,500人 H25 台風のため中止 H26 5,300人
達成状況の評価、要改善事項	<input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない
計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	24 年度～ 26 年度
<p>計画に記載している方針</p> <p>計画に記載している課題</p>	<p>ウ 江戸期の町割を継承する道路や水路の保全と活用</p> <p>歴史的建造物や展示施設を回遊するための歩行者や自転車による周遊ネットワークが形成されておらず、休息の場がなく、またファサードの統一感もない。また長崎街道は、道路や開発等により一部分断されている場所があり、道筋がわかりにくいといった課題がある。</p> <p>また、水路及び周辺環境に関する課題として、昭和初期に東堀が埋められたため、城内らしさが感じられない。水汲み場として使われた棚路は、水質悪化と水量不足のため、撤去されたり、埋められたものも多い。また、藩政時代の町割を伝える堀、石橋は、その存在が見えないところも多く、城下町の風情を感じられない。</p>
<p>対応する進捗評価項目とその推移</p>	<p>③佐賀城公園整備事業</p> <p>「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施している。</p> <p>③長崎街道再整備事業(H26～H33)</p> <p>③石橋再生事業(H25～H33)</p> <p>③水路保全整備事業(H25～H33)</p> <p>長崎街道・柳町景観形成地区内の指定範囲において、2件助成</p> <p>③周遊ルート環境整備事業(H25～H33)</p> <p>③案内・説明看板及び誘導看板整備事業(H25～H33)</p>
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>江戸時代の町割と現在の都市計画図を重ねた「御城下絵図まちあるきマップ」を作成したことにより、往時の町割を辿ることができ、佐賀城下探訪会では毎回多くの市民が参加している。</p> <p>また、佐賀城東堀の一部復元による発掘調査により、東堀の構造わかり、現地説明会には多くの見学者が訪れた。また、東堀の一部復元により、佐賀城の大きさを認識できたことは成果が高い。</p> <p>長崎街道の再整備、案内・説明及び誘導看板整備は、調査、方針を今年度中に策定し、平成27年度以降順次整備する。</p> <p>石橋再生事業、周遊ルート整備事業、ファサード整備事業については、整備方針を検討中で、進捗が遅れている。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している</p> <p><input type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> <p>事業が遅れている石橋再生事業、周遊ルート整備事業については、H27以降に整備予定の長崎街道再整備事業や案内・説明看板及び誘導看板整備事業と一体的に検討する必要がある。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	24 年度～ 26 年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
<p>代表的な取り組み①: 拠点施設の整備</p> <p>旧久富家住宅取得保存修理事業</p>	
<p>(取り組み概要)</p> <p>長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する旧久富家住宅は、大正10年に「履物問屋 久富商店」として建てられたもので、外観は大棟の妻壁を大きく見せ、大正期の大型町屋として力感あふれる表構えであり、主屋西側の土蔵造りとともに、当時の面影を良く残している。今回保存修理を行い、公開する。</p> <p>○整備等の実績</p> <p>平成24年度 歴史的風致形成建造物の指定、用地取得(建物は寄付)、図面作成</p> <p>平成25年度 改修設計、工事発注、見学会実施、活用者募集(1階決定)</p> <p>平成26年度 見学会実施、活用者募集(2階8区画のうち5区画決定)、平成27年1月末建物工事完了、平成27年2月公開開始</p>	
<p>(自己評価)</p> <p>歴史的建造物が多く残る柳町(景観形成地区)の街並み保全を図ることができた。</p> <p>外観はなるべく往時の姿に改修し、内部は活用にあわせて改修し、賑わいづくりに貢献する活用を行うことで、柳町に不足していた来訪者のおもてなし施設としての活用が図れた。</p> <p>平成27年2月の佐賀城下ひなまつり開始にあわせてオープンしており、今後、歴史民俗館(歴史的風致形成建造物)等と連携し、通年の賑わいづくりに寄与する取り組みを進めていく。</p>	
<p>(外部評価)</p> <p>・外部有識者名(役職・肩書き等): 佐賀大学大学院准教授 後藤 隆太郎</p> <p>・外部評価実施日: 平成27年4月22日</p> <p>・有識者コメント</p> <p>・歴史的建造物の骨格を保全しつつ、カフェや写真館など民間事業者の参入を促して、上質な空間づくりに成功している。これまで弱かった町の賑わいの場ができ、今後の「町」としての展開が大いに期待できる。</p> <p>・コスト等の詳細は不明であるが、印象としては「公」がであるがゆえにできたすぐれた取り組み(公が主体となる社会的実験)といえる。この取り組みを単に旧久富家のみにとどまらせない、他の歴史的建物の改修を促す改修モデルと位置づけるならば、空間のみならず事業スキームも含めて公開、検証していくことが有効ではないか、と思われる。</p> <p>・当施設は居住地区の中にあることが一つの特徴であるが、そうした地域との空間的な関わり、参入者と住民との関わり方を工夫し、さらに新たな動きが生まれて、歴史的風致の維持向上が連関的に展開してゆくことを期待したい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>・歴史的建造物の新たな活用策としての検証を行い、また、市が所有する助成支援策のPRを行い、他の歴史的建造物の保全誘導につなげていく。</p> <p>・近隣住民や地域の他の施設と協力して、面としての魅力向上に寄与する活用を図っていく。</p>	

評価対象年度	24年度～ 26年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
<p>代表的な取り組み①: 拠点施設の整備</p> <p>旧森永家住宅取得保存修理事業</p>	
<p>(取り組み概要)</p> <p>長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に位置する旧森永家住宅は、明治前期の建物が3棟(主屋、表土蔵、裏土蔵)残されており、当初は煙草製造販売業を営んでいたが、明治37年の煙草専売化に伴い呉服商に転じ、昭和9年まで呉服店を営んでいた。表土蔵は、妻入りの2階建てで正面の森永呉服店の木看板の文字が目を惹く。裏土蔵は、妻入りの3階建てで、敷地南側を流れる裏十間川に面して建ち、裏十間川に面した部分にも出入り口を設け船運に対応したとみられる。西側の主屋は切妻造り平屋建てである。今回保存修理を行い、公開する。</p> <p>○整備等の実績</p> <p>平成24年度 歴史的風致形成建造物の指定、用地取得(建物は寄付)、図面作成</p> <p>平成25年度 改修設計、工事発注、見学会実施、活用者決定</p> <p>平成26年度 見学会実施、平成27年1月末建物工事完了、平成27年2月公開開始</p>	
<p>(自己評価)</p> <p>歴史的建造物が多く残る柳町(景観形成地区)の街並み保全を図ることができた。</p> <p>外観はなるべく往時の姿に改修し、内部は活用にあわせて改修し、賑わいづくりに貢献する活用を行うことで、柳町に不足していた来訪者のおもてなし施設としての活用が図れた。</p> <p>平成27年2月の佐賀城下ひなまつり開始にあわせてオープンしており、今後、歴史民俗館(歴史的風致形成建造物)等と連携し、通年の賑わいづくりに寄与する取り組みを進めていく。</p>	
<p>(外部評価)</p> <p>・外部有識者名(役職・肩書き等): 佐賀大学大学院准教授 後藤 隆太郎</p> <p>・外部評価実施日: 平成27年4月22日</p> <p>・有識者コメント</p> <p>・南蔵、居宅は佐賀の伝統工芸品の工房、ギャラリーであり、歴史的建造物の良さを活かし、かつ地場産業の育成や佐賀のイメージ向上にも通じるものである。国産紅茶店は、呉服店時代の高い天井をそのまま活用し、気持ちのよいおもてなしの空間となっている。</p> <p>・今後もこのような改修、活用が、民間主導で成されるように、推奨、支援してもよいのではないかと。</p> <p>・当施設は通りから背後の水路の間にあることが特徴であり、かつてはこの「間」に生業と生活(居住)があった。簡単なことではないが、柳町の人々の生活(住まい)とこれら新しい歴史的な施設との関わり(たとえば住みながら商いをする)などを実現できれば、さらなる歴史的風致の維持向上が図られるのではないかと、とも考えられる。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>・歴史的建造物の新たな活用策としての検証を行い、また、市が所有する助成支援策のPRを行い、他の歴史的建造物の保全誘導につなげていく。</p> <p>・近隣住民や地域の他の施設と協力して、面としての魅力向上に寄与する活用を図っていく。</p>	

評価対象年度	24年度～26年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
代表的な取り組み①: 拠点施設の整備	
大隈記念館改修事業	
<p>(取り組み概要)</p> <p>史跡「大隈重信旧宅」の隣に建つ大隈記念館は、昭和42年に開館した大隈重信侯にまつわる歴史資料を展示する施設である。同館の設計者は、早稲田大学建築学科教授であった今井兼次氏であり、どっしりとした独特の建物意匠は、大隈侯の動かざる姿をイメージしたものと言われている。今回、開館以来行っていない内部及び設備の改修と展示施設の更新を行う。</p> <p>○整備等の実績</p> <p>平成24年度: 大隈記念館整備検討委員会設置、検討</p> <p>平成25年度: 委員会答申、実施設計</p> <p>平成26年度: 改修完了、平成27年2月活用開始</p>	
<p>(自己評価)</p> <p>大隈重信の展示を充実させることができた。また、周辺の武家屋敷の推定復元模型を作成し、御城下絵図とともに展示することで、中級武士が暮らしていた会所小路の様子を見せることができた。平成27年2月にオープンしており、今後歴史民俗館(歴史的風致形成建造物)等周辺施設と連携しながら来館者増を目指す。</p>	
<p>(外部評価)</p> <p>・外部有識者名(役職・肩書き等): 佐賀大学大学院准教授 後藤 隆太郎</p> <p>・外部評価実施日: 平成27年4月22日</p> <p>・有識者コメント</p> <p>・幕末や明治維新期の大隈の生きた時代、特に大隈と佐賀との関わりがわかる内容である。中央で活躍した大隈を通じて、その時代の地方佐賀の実情などを示すことは、内外の方々に佐賀をPRする場として有効と考えられる。そうであるならば、また現在公共施設であることを鑑みれば、当時の佐賀と直接関わりのない情報提示等には一定の配慮が必要となろう。</p> <p>・今日、武家屋敷地の雰囲気は地割りが一定程度残っているものの、建物等は更新させているために、一般の人々にはわかりにくい。そのため、町割りや町並みの推定復元模型と古地図の展示は、このあたりが武家屋敷であったことを実感でき、特に中級武士の敷地の大きさなども理解でき、評価できる。</p> <p>・設計者である今井兼次の建築についても展示スペースがあり、近現代の建築物を見るために訪れる方もいるので良いと思う。この建築は、構造等にも特徴があり、必要な方にそれら建築的情報が提示できればよりよいと思う。</p> <p>・今後、単なる展示施設とせず地域の人々の利活用を促すことができれば、さらなる歴史的風致の維持向上にもつながるのではないか。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>・史跡「大隈重信旧宅」や周辺施設(歴史民俗館など)と連携しながら、企画展やイベントの充実を図る。</p> <p>・当時の町割や小路の様子を伝える案内板等の充実を検討する。</p> <p>・今井兼次氏が設計した独特の建物意匠を広く紹介し、建物自体の魅力をPRしていく。</p>	

# 総括評価シート【代表的な事業の質の評価】

評価対象年度 平成26年度

## ・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 佐賀市歴史まちづくり協議会

会議等の開催日時: 平成27年2月17日(火) 9:00~11:10  
場所: 徴古館2階

### ◆事業の進捗評価に対するコメント

#### 【歴史的風致形成建造物保存修理事業】

- ・民間の歴史的建物の保存について、保存を促すような積極的な対応が必要ではないか。
- ・保存の必要性のある建造物については事前に把握し、主体的に。特に城下町での武家屋敷について。

#### 【旧久富家住宅取得保存修理事業】

- ・2階の活用者が決まっていない3区画は、やる気のある人が活躍できるような募集の仕方をしてほしい。

#### 【佐賀城堀の水循環事業】

- ・樋門を作るとなると、県の文化財との関係もあるので、十分に協議してもらいたい。
- ・水位が上がれば、お堀の周辺にある県の天然記念物の大楠群の根腐れの問題もあるので考慮の上、県と調整の上進めていただきたい。

#### 【水路保全事業】

- ・民間の方々が、市と一緒に、石積護岸の整備をするということで、この事業の波及効果を、もっと評価して良いのではないかな。

#### 【文化財要覧作成事業】

- ・データベース化するだけでなく、冊子にすることも検討してはどうか。

#### 【石橋再生事業】

- ・事業化に至っていない状況であり、ソフト事業への方向転換なども含めてどうするか再度検討をすべき。また、周知の方法も検討すべき。
- ・専門家にももっと意見を聞くべき。

#### 【案内・誘導看板等整備事業】

- ・整備にあたり、基準を策定することのだが、カラーUDなど、障がいのある方への配慮をしていただきたい。

#### 【城堀の景観について】

- ・北堀のマンション建設問題や東堀の復元方法等問題点が山積。佐賀城下の誇るべき景観である城堀について全体計画・将来構想が必要ではないか。

コメントが出された会議等の名称:佐賀市歴史まちづくり協議会

会議等の開催日時:平成27年5月27日(水) 13:00~16:10

場所:佐賀市役所議会棟第3会議室

【佐賀城公園整備事業・佐賀城堀の水循環事業】

・佐賀城公園整備事業は県で、佐賀城堀の水循環事業は市の事業で主体が違う。前回の協議会でも議論になったが、城堀の復元については、水量、水質の問題など、複数の課題があり、もっとシステムチックな検討が必要ではないか。全体構想、全体計画を考え、進めるべき。

【史跡「大隈重信旧宅」保存修理事業】

・敷地への入口が東にしかないため、東の勝手口から入って見学する人が多い。北側の玄関から入るような工夫をすべきではないか。  
・畳がかなり老朽化しているので取り替えるべきではないか。

【歴史的風致形成建造物保存修理事業】

町家はある程度残っているが、武家屋敷はかなり減っている。相談があった時に対応するのではなく、保存すべきものは積極的に動くべきではないか。景観を形成する門・塀・竹垣も合わせて保存を。

【ファサード整備事業】

・事業検討にあたっては、33年度までに全体でどの程度整備するのか、目標設定をすべきではないか。

(今後の対応方針)

・歴史的建造物の保全の相談について、平成24年度から窓口を一本化し、助成制度等の紹介などを行っている。今後もより適切な誘導を図れるよう情報提供等を行っていく。  
・事業進捗が遅れている事業や、懸案事業、また重点区域内の景観について、専門家等の意見を聴き、また関係機関との連携を十分に図りながら、対応を検討していく。